

# 埼玉の造り手

Vol. 39

(株)システムアドバンス  
(新座クラフト)



## フォトマスクメーカーがクラフトビールを醸造！？

「新座クラフト」は新座市初のクラフトビールで、フォトマスクメーカーの株式会社システムアドバンスが製造・販売している。工業製品製造業が全くの異業種である酒づくりを始めるというのは極めて希なケースである。

新座クラフトの製造・販売を担当するのは醸造長の中島氏(元:フォトマスク製造部門長)。5年前に新規事業立ち上げの命を受け、たった一人で事業考案からスタートし、今でも一人で製造から販売まで対応している。当時、上野社長からは「本業に関連がなくても良いが、ものづくりの会社として形のあるもので地域貢献ができ、高齢になった社員の雇用につながるものと考えてほしい」という条件が出された。クラフトビールづくりに決まったものの、中島氏に酒づくりの経験はなく、全くのゼロからのスタートであった。販路も今までの取引先とは異なるため新規開拓が必要だったほか、酒造免許や販売免許の取得、設備の調達、場内レイアウトなどすべてにおいて手探りで、失敗したこともあり、開業まで多くの苦労があったという。一番重要な醸造技術も複数の醸造所で学び、2023年7月から自社醸造をスタートさせた。



醸造タンクが立ち並び工場内の様子。ろ過や煮沸といった仕込みから発酵・貯蔵の工程を丁寧に行っている

## 「地産地消」新座100%のクラフトビールを目指して

販売しているビールは3種類で、初めての方にも飲みやすく仕上げています。「NAKAJI'S HELLES」はフローラルにスパイシーさを合わせた香り、ホップの苦みを抑え、軽い口あたりと麦の甘みで飲みやすい。「NAKAJI'S PALE ALE」は4種のホップを贅沢に使った華やかな香り、まろやかなコクと甘みがある。「NAKAJI'S IPA」は柑橘系の爽やかな香り、クリアな飲み口、IPAらしい苦みが感じられる。その日の気分で選べるのもうれしい。10月には地元の十文字学園女子大学とコラボしてオリジナルビールを開発した。若者や女性でも飲みやすい甘めでコクのあるビールにしたいとの大学側の要望を受けたものだ。

当初から「地産地消」を目指し、時期によっては新座市の特産である冬ニンジンの葉を副原料に使ったり、敷地内でホップを栽培するほか、ブランドロゴや瓶に貼るラベルを市内のデザイナーや印刷会社をお願いするなど、新座100%のクラフトビールづくりを目指している。「地元農家や企業との地域連携で新座市がさらに盛り上がるとうれしい」と中島醸造長は意気込みを話す。



「いろいろなイベント出席で認知度が上がってきている。生産能力を高めて安定供給できるようにしていきたい」と語る中島醸造長

株式会社システムアドバンス  
(新座クラフト)

<https://niiza-craft.jp>

新座市大和田3-4-50 Tel 090-4666-4161  
新座クラフト醸造長 中島 康長 氏  
創業 1978年 資本金 5,000万円 従業員数 98名  
事業内容 フォトマスク製造・販売  
クラフトビールの製造・販売  
購入方法 直売店(平日9:00~17:00)、市内酒販店ほか



左から、「NAKAJI'S HELLES」「NAKAJI'S PALE ALE」「NAKAJI'S IPA」。3種類を飲み比べられるおすすめのセット



### ● 一般社団法人埼玉県物産観光協会の紹介

一般社団法人埼玉県物産観光協会は、日々新しく生まれる魅力的な県産品や生産者の思いを『SAITAMA BRAND』として発信し、多くの皆様に知っていただきたく、「埼玉県新商品 AWARD」を立ち上げました。埼玉県の生産者が技術と伝統、土地の恵みを生かして開発した素晴らしい商品をご覧ください。  
<https://chocotabi-saitama.jp/award>



### ● 読者プレゼント実施中！

システムアドバンスの「新座クラフト3種飲み比べセット(各2本6本入り)」を1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、新座クラフトビール希望」を記載の上、so-dan@saitama-j.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの専用QRコードから、12月19日(木)までに、ご応募ください。当選者の発表および当選商品は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

